

開催日程

❖ 本校開催

コース名	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
1コース	5/27(月)	5/28(火)	6/24(月)	6/25(火)	7/24(水)	7/25(木)	8/27(火)	8/28(水)
2コース	9/17(火)	9/18(水)	10/10(木)	10/11(金)	11/13(水)	11/14(木)	12/9(月)	12/10(火)
3コース	1/9(木)	1/10(金)	2/3(月)	2/4(火)	3/5(木)	3/6(金)	4/2(木)	4/3(金)

- ❖ 各施設に講師が伺って開催する場合の日程はご相談の上決定します。
 (受講生6人に1人の講師が対応します)

介護技術インストラクター認定資格

- ❖ 最終日には、一般財団法人つしま医療福祉研究財団の『介護技術インストラクター認定試験』を実施します。
 合格者は、「介護技術インストラクター」として認定され認定証が付与されます。
 《認定試験内容》— 総合評価課題のポイントを整理し実技

受講料

- ❖ 148,000円 (137,038円+税) ◇教材、認定試験受験料 含む
国の助成金を使える場合があります。詳しくは、担当までお問い合わせ下さい。

開催場所・お問い合わせ先

学校法人 日本医療大学

生涯学習センター

〒062-0022
 北海道札幌市豊平区月寒西2条5丁目1番2号
 TEL 011-827-7217 FAX 011-827-7062



地下鉄東豊線「月寒中央」駅1番出口より徒歩7分

※駐車場はありません。
 お近くの有料駐車場か、公共交通機関をご利用ください

考える介護を実践する研修

介護技術インストラクター養成研修

「介護技術インストラクター養成研修」は、部下を持つ(持つ予定のある)介護現場のリーダーを対象に、介護技術に特化したカリキュラムで構成されています。
 「いまさら聞けない基本の基」をもう一度学び直したいと考えている現場のリーダーはいませんか？
 この研修は、介護技術の根拠を学び、自信をもって部下の指導ができるリーダーを養成することで、職場全体のケアの質が向上することを目指しています。

一般財団法人
 つしま医療福祉研究財団

介護技術インストラクター養成研修

基本の“基” -----
 「なぜこの方にこの介護をしたか！」
 その根拠を明確に説明できる人材を育成

皆さんの介護現場でこのような悩みはありませんか？

- ❖ 不自然な姿勢や技術で身体を痛めている職員がいる
- ❖ 現場のリーダークラスが職員を十分教育できる体制がない
- ❖ 自分ではできても、理論的に部下に教えることができていない
- ❖ 介助時と部下の指導の両面で必要とされているコミュニケーション技術が不足している



介護技術インストラクター養成研修テキストより抜粋

修了者からの声（実践結果報告『心と身体の仕組み、移動』より一部抜粋）

- ❖ ボディメカニクスの基本原理は理解していたつもりでしたができていなかったことに気が付き、基本となる姿勢と、重心線を意識できるようになった。
- ❖ ベッド上で上半身を拳上している利用者が、不快な表情をしていたので背抜きを行った。「背中のかゆいのがなくなった!!」と何度も言って、すぐに眠りについた。（認知症のご利用者）

研修概要

研修のねらい <ul style="list-style-type: none"> ❖ すべての介護行為を、根拠を持ち実践できる。 ❖ 基本となる介護知識を持つ。 ❖ 介護行為を理論に基づいて部下に指導できる。 ❖ 考える介護を実践できる。 	達成目標 <ul style="list-style-type: none"> ❖ 介護行為の根拠を言語化できる。 ❖ 心身の仕組みを生かした介護技術を提供できる。 ❖ 利用者の意向と状態の変化に対応した介護を考え実践できる。 ❖ 介護で健康を害さない技術を身につける。
受講対象者 <ul style="list-style-type: none"> ❖ 介護現場のリーダーとして部下を指導する立場にある。 ❖ 今後、介護現場のリーダーとして活躍が期待されている。 ❖ 介護現場のリーダーとして躍進したいと考えている方 	プログラム特色 <ul style="list-style-type: none"> ❖ 3カ月に2日間ずつ4回実施する。 ❖ 講義+演習+実技で構成され、知識をその日の実技で確認する。 ❖ 不適切な介護をする部下への効果的な指導技術を実施する。 ❖ 各回で学んだ内容をもとに職場の課題に取り組む。 ❖ 職場での実践過程、結果、気づきを報告し共有、発展させる。
カリキュラム	

「介護技術インストラクター養成研修」カリキュラム

午前	9:00 ~ 12:00 (3時間)	講義50分、10分休憩を基本とする		
午後	13:00 ~ 17:00 (4時間)	実技の休憩は進捗状況に合わせて適宜とする		
* 演習の状況によっては終了時間を延長する場合があります。				
日程	時間	研修内容	形態	
1日目	50分	開講式・オリエンテーション		
	1時間10分	プロの介護職に求められること	講義・演習	
	5時間	1.介護に必要なコミュニケーション技術 ・基本技術+場面ごとの技術 ・不適切な部下への指導技術	講義・演習 演習	
2日目	2時間	2.基本となる心と体のしくみ ・基本動作（根拠を意識）	講義・演習	
	5時間	・応用動作（他の単元の実技に繋がる基本動作）	実技	
3日目	2時間	3.自立に向けた移動の介護技術 ・基本動作（根拠を意識）	講義・演習	
	5時間	・応用動作（今までの学習内容に積み重ねる）	実技	
		・不適切な部下への指導技術	演習	
4日目	30分	現場での取り組み状況についての報告	演習	
	2時間	4.自立に向けた食事の介助 ・基本動作（根拠を意識）	講義・演習	
		4時間30分	・応用動作（今までの学習内容に積み重ねる） ・不適切な部下への指導技術	実技 演習
5日目	30分	現場での取り組み状況についての報告	演習	
	2時間	5.自立に向けた排泄の介助 ・基本動作（根拠を意識）	講義・演習	
		4時間30分	・応用動作（今までの学習内容に積み重ねる） ・不適切な部下への指導技術	実技 演習
6日目	2時間	6.自立に向けた身支度の介助 ・基本動作（根拠を意識）	講義・演習	
		・応用動作（今までの学習内容に積み重ねる）	実技	
	5時間	・不適切な部下への指導技術	演習	
7日目	30分	現場での取り組み状況についての報告	演習	
	2時間	7.自立に向けた清潔・入浴の介助 ・基本動作（根拠を意識）	講義・演習	
		4時間30分	・応用動作（今までの学習内容に積み重ねる） ・不適切な部下への指導技術	実技 演習
8日目	30分	総合評価の留意事項説明		
	2時間	認定試験（総合評価課題の理解、実技の組み立て、実技）		
	30分	振り返り（研修で変化したことを箇条書きする）		
	1時間	習熟度の確認（研修で変化したこと、職場にて取り組む内容（根拠ある介護技術の導入）を整理、発表、指導		
		3時間	総合評価結果のフィードバック及び根拠を明確にした実技の解説、研修全体のまとめ	
合計56時間				